

合併市町村基本計画の執行状況について  
(平成25年度諮問対象事業)

資料 1

1 道路新設改良事業

(進捗状況)

道路新設改良事業については、4路線（市道10111号線、市道13125号線、市道13045号線・13047号線、市道13127号線）が計画されております。

計画されている4路線のうち、市道13045号線・13047号線については、平成23年度に改良工事が終了し、現在、市道13125号線の整備が進められております。

<参考－執行状況>

路線名		進捗状況	平成23年度	平成24年度	平成25年度 (予定)
事業 内容	市道10111号線	一部未完了	—	—	—
	市道13125号線	整備中	改良工事	用地交渉	用地交渉
	市道13045号線・ 市道13047号線	整備完了	用地取得 改良工事	/	/
	市道13127号線	未着手	—	—	—
予算額		当年度	225百万円	0	0
		累計	783百万円	783百万円	783百万円

【平成24年度の意見】

市道10111号線の整備については、一部未完了ですが、県道の拡幅に合わせ改良工事が行われる予定であり、今後は計画的な整備を望みます。

市道13125号線の整備については、現在、改良工事が継続して行われておりますが、生活道路としての利便性を図るうえでも、早期開通が必要です。

市道13127号線の整備については、交通量や利便性を考慮し、今後は地域の実情に合った計画的な整備を望みます。

【平成25年度の意見】

## 2 上水道事業統合整備

(進捗状況)

上河内地域の上水道事業については、東部地区と西部地区の独立した二つの水道管で運営しておりますが、災害等が発生した場合においても安定した給水ができるよう、平成21年度に策定した水道拡張事業計画に基づき、平成25年度は、二つの水道管を結ぶ東西連絡管を整備する予定となっております。

また、松風台団地の給水区域編入については、地元自治会との協議を行いながら給水区域編入を進めていくことになっております。

<参考－執行状況>

		平成23年度	平成24年度	平成25年度(予定)
事業内容		今里送排水管更新工事 L=604m(H23年度分) 関白増圧所 給水ユニット更新工事	今里町市道舗装工事 今里町配水管更新工事 L=295m(H24年度分)	下小倉町配水管新設工事(東西連絡管)L=120m 金田町配水管新設工事 L=700m 中里町配水管布設工事 L=120m
予算額	当年度	80百万円	26百万円	71百万円
	累計	246百万円	272百万円	343百万円

### 【平成24年度の意見】

全国各地で大きな被害をもたらした東日本大震災以降、防災意識の高まりにより、災害に備えたライフラインの整備が求められています。

そうした中、災害時においても安定した給水が確保できるよう、早急に東西連絡管の整備が必要です。

また、松風台団地の給水区域編入についても、自治会や開発業者と十分に協議を行い、市水道への早期編入を望みます。

### 【平成25年度の意見】

### 3 公共下水道整備事業

(進捗状況)

公共下水道整備事業については、平成24年度までに上河内地域内の事業認可区域面積（248.2ha）に対する進捗率は67.4%となり、着実に整備が進んでおります。

また、平成25年度は、中里地区・今里地区の污水管布設が行われることになっております。

<参考－執行状況>

	平成23年度		平成24年度	平成25年度（予定）
事業内容	公共下水道 污水管渠築造工事		公共下水道 污水管渠築造工事	公共下水道 污水管渠築造工事
	特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事		特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事	特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事
実績	10.6ha		2.8ha	9.0ha
実績累計	164.4ha		167.2ha	176.2ha
進捗率※	66.2%		67.4%	71.0%
予算額	当年度	219百万円	166百万円	197百万円
	累積	1,187百万円	1,353百万円	1,550百万円

#### 【平成24年度の意見】

公共下水道認可区域内においては、地域の生活環境の向上や自然環境の保全を図るため、一日も早い公共下水道の整備完了を望みます。

また、住みやすい住環境を整備するには、公共下水道を推進する以外にも、公共下水道認可区域外に対する合併処理浄化槽設置の推進も重要であり、地域全体としての環境保全に繋げていくことが必要です。

#### 【平成25年度の意見】

#### 4 児童の健全育成環境の整備

(進捗状況)

児童の健全育成環境の整備については、平成20年度に上河内中央小学校区域及び上河内西小学校区域に「子どもの家」が設置されました。

また、平成21年度には、上河内東小学校区域の留守家庭児童会が上河内東小学校体育館内に移転されましたが、「子供の家」に移行するため、平成25年度に上河内東小学校の敷地内に独立棟が建設されることになっております。

<参考—執行状況>

	平成19年度から平成23年度	平成24年度	平成25年度 (予定)	
業内内容	上河内中央小学校子どもの家開設 (平成20年度)			
	上河内西小学校子どもの家開設 (平成20年度)			
	上河内東小学校留守家庭児童会移転 (平成21年度学校内既存施設へ)	—	上河内東小学校子 どもの家施設整備	
予算額	当年度	0	0	46百万円
	累計	49百万円	49百万円	95百万円

#### 【平成24年度の意見】

上河内東小学校の体育館内にある留守家庭児童会については、小学校敷地外から移転して3年が経過しました。

上河内東小学校の留守家庭児童会を「子どもの家」に移行することは、乳幼児とその保護者の方に交流の場を提供する重要な環境整備であることから、一日も早く「子供の家」として、空き教室や新たな建物への移行が必要です。

また、安全で安心な「子どもの家」を運営するにあたっては、保護者からの意見を聞くことも必要です。

#### 【平成25年度の意見】

## 5 中学校校舎整備事業

(進捗状況)

中学校校舎整備事業については、上河内中学校普通教室棟の耐震補強工事が平成13年度に実施されております。

また、特別教室棟については、平成18年度に耐震1次診断、平成21年度に耐震2次診断が行われ、平成25年度に耐震補強工事を実施する予定となっております。

<参考－執行状況>

	平成18年度から平成23年度	平成24年度	平成25年度(予定)
事業内容	上河内中学校特別教室棟耐震2次診断(平成21年度)	上河内中学校校舎耐震補強工事実施設計委託	上河内中学校校舎耐震補強工事実施(前年度予算の繰越)
予算額	当年度	3百万円	3.6百万円
	累計	4百万円	4.3百万円

### 【平成24年度の意見】

中学校校舎の耐震化は、自然災害などから生徒の安全を確保するための最優先事業であり、安心して快適な教育環境をつくるうえでも大変重要であることから、早急に整備を進めることが必要です。

また、校舎の老朽化が進んでおり、自然災害等はいつ発生するかわからないため、耐震化を実施するまでの間は、日常的な点検整備も必要です。

### 【平成25年度の意見】

--

## 6 中学校体育館整備事業

(進捗状況)

中学校体育館整備事業については、平成18年度に上河内中学校体育館の耐震1次診断、平成21年度に耐震2次診断が行われ、平成27年度までに耐震補強工事を完了する予定となっており、平成25年度は耐震補強工事の設計委託がされることになっております。

<参考－執行状況>

	平成19年度から平成23年度	平成24年度	平成25年度(予定)	
事業内容	・上河内中学校体育館 耐震2次診断(平成21年度)	—	上河内中学校体育館 耐震補強工事設計委託	
	・上河内中学校武道場 新築実施設計(平成21年度)	/	/	
	・上河内中学校武道場 新築工事(平成22年度)			
予算額	当年度	0	0	6百万円
	累計	156百万円	156百万円	162百万円

### 【平成24年度の意見】

中学校体育館は、自然災害などから生徒の安全を確保する以外にも地域の避難場所として大切な役割を果たす施設であり、老朽化が進んでいることから、早急に耐震化を進めることが必要です。

また、自然災害等はいつ発生するかわからないため、耐震化を実施するまでの間は、日常的な点検整備も必要です。

### 【平成25年度の意見】

## 7 生涯学習センター整備事業

(進捗状況)

生涯学習センター整備事業については、まちづくりと人づくりの一体的推進を図るため、平成23年度に策定した「第2次宇都宮市地区行政推進計画」において、地域自治センターと生涯学習センターの一体的な整備を位置づけました。

今後は、一体的な整備に向け、施設に必要な機能や規模等について検討することになっております。

<参考－執行状況>

	平成19年度から平成23年度		平成24年度	平成25年度(予定)
事業内容	まちづくりと人づくりの一体的推進を図るため、「第2次宇都宮市地区行政推進計画」において、地域自治センターの一体的な整備を位置づける(平成23年度)		関係部局と連携し、生涯学習センター及び地域自治センターの一体的な整備に向けて具体的な整備内容について検討	引き続き関係部局と連携し、生涯学習センター及び地域自治センターの一体的な整備に向けて、整備内容について検討
予算額	当年度	0	0	0
	累計	0	0	0

### 【平成24年度の意見】

上河内生涯学習センターは、老朽化が進んでいるとともに、狭隘でバリアフリーの対応が不十分であることから、早急な対応が必要です。

今後の整備に際しては、地域で組織する検討委員会などから意見を聴取し、地域の意向を反映した誰もが安全かつ快適に利用できる施設を望みます。

### 【平成25年度の意見】

## 8 農産物直売所等整備事業

(進捗状況)

農産物直売所等整備事業については、梵天の湯をはじめ数箇所の農産物直売所が整備・運営されているため、既存施設を活用し消費者ニーズに対応した新鮮・安全・安心な農産物が提供できるよう、お客様にとって利用しやすい環境づくりへの支援や経営相談など、ソフト事業に対する支援が行われております。

<参考－執行状況>

	平成24年度		平成25年度
事業内容	① 農産物直売所イメージアップ事業の実施 ② 運営や人材育成に係る研修等の情報提供 ③ PR資材の提供		平成24年度に同じ
予算額	当年度	6万円	12万円
	累計	6万円	18万円

### 【平成24年度の意見】

地産地消の推進や地域産業の活性化、特に上河内地域の特色である「農」を活かした産業を推進するためには、各直売所に対する経営相談や既存施設の利活用を促す普及啓発活動など、今後とも上河内の農産物が多く消費者に提供できるような仕組みづくりへの支援が必要です。

### 【平成25年度の意見】

--



## 9 農道整備事業

(進捗状況)

農道整備事業については、毎年度、計画的に整備が進められており、平成19年度から平成24年度までの6年間で延べ7,664.3mの農道舗装工事が行われ、順調に整備が進んでいます。

<参考－執行状況>

	平成19年度から平成23年度	平成24年度	平成25年度(予定)
事業内容	農道舗装工事	農道舗装工事	農道舗装工事
実績	6,586.3m	1,078.0m	720.0m
実績累計	6,586.3m	7,664.3m	8,384.3m
予算額	当年度	20百万円	14百万円
	累計	102百万円	122百万円

【平成24年度の意見】

農道の整備は、上河内地域の主要な産業である農業をサポートするうえで大変重要な事業であることから、今後とも効率的かつ効果的な整備が必要です。

また、整備に際しては、地域からの意見なども参考に、旧土地改良区を含めた検討を行い、上河内地域をトータルで考えた農道舗装工事が必要です。

【平成25年度の意見】

--

## 10 地域交流館整備事業

(進捗状況)

地域交流館整備事業については、利用者へのサービス向上や運営の円滑化を図るため、指定管理者と連携しながら、利用者ニーズに対応した施設や交流事業の充実を図るための検討が進められているところです。

<参考－執行状況>

	平成23年度		平成24年度		平成25年度(予定)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者や地域団体が連携して実施する各種交流事業を支援</li> <li>「ゆず園」を活用した新たな地域の魅力づくりに向け、指定管理者や地域団体と連携し、講演会や意見交換会を実施</li> <li>「自転車の駅」を設置</li> <li>施設の維持修繕</li> <li>利用者ニーズ調査及び指定管理者との意見交換の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者や地域団体等が主体的に実施する各種交流事業を支援</li> <li>施設の設備等維持修繕(空調設備オーバーホール等)</li> <li>平成25年度からの指定管理者を公募により選考し、指定</li> <li>施設の有効活用に向けた検討(指定管理者との意見交換など)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者の提案による新たな事業(魅力ある周遊散策コースの整備や自転車を活用したイベント等)や、地域団体等が主体的に実施する各種交流事業の支援</li> <li>施設の維持修繕(各種ポンプ類改修工事、洗い場サーモ付シャワー取替工事等)</li> <li>施設の有効活用に向けた検討(指定管理者との意見交換など)</li> </ul>	
	予算額	当年度	25百万円	当年度	43百万円	当年度
	累計	67百万円	累計	110百万円	累計	127百万円

### 【平成24年度の意見】

地域交流館は、地域の交流の場だけでなく都市間交流の拠点として、重要な役割を担う施設であることから、地域ならではのサービスやおもてなしの提供が必要です。

また、交流人口の増加に繋がる取組みとして、体験農園を充実させるためのPR活動や温泉を活かした健康法のひとつである足湯の設置など、利用者ニーズに対応した施設の充実を望みます。

なお、地域交流館整備事業については、平成24年度改定予定である「観光振興プラン」において、地域交流館を活用した誘客促進策として計画に反映するとともに、自治会議が策定した「地域のまちづくりに関する施策の提案」についても十分に考慮されることを望みます。

### 【平成25年度の意見】